



## 2023年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月13日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東  
 コード番号 5018 URL <https://www.moresco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 両角 元寿  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 藤本 博文 TEL 078-303-9220  
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年2月期第3四半期の連結業績（2022年3月1日～2022年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第3四半期	22,479	10.1	511	△62.8	1,144	△34.0	719	△58.5
2022年2月期第3四半期	20,415	13.6	1,375	114.5	1,732	164.0	1,730	470.7

(注) 包括利益 2023年2月期第3四半期 1,934百万円 (△17.4%) 2022年2月期第3四半期 2,342百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第3四半期	77.24	—
2022年2月期第3四半期	184.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年2月期第3四半期	31,929	21,820	59.6	2,060.80
2022年2月期	29,008	20,551	61.9	1,914.94

(参考) 自己資本 2023年2月期第3四半期 19,016百万円 2022年2月期 17,962百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2023年2月期	—	20.00	—	—	—
2023年2月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年2月期の連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	15.4	1,110	△22.6	1,700	△15.5	1,000	△44.7	107.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年2月期3Q	9,696,500株	2022年2月期	9,696,500株
② 期末自己株式数	2023年2月期3Q	468,970株	2022年2月期	316,570株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年2月期3Q	9,302,938株	2022年2月期3Q	9,378,048株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

2023年1月18日に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表および主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	7
3. 補足情報 .....	8
(1) 製品およびサービスに関する情報 .....	8
(2) 海外売上高 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復等により、回復基調で推移しました。世界経済においては、ウクライナ紛争の長期化が世界的なインフレに拍車をかけています。インフレ圧力が顕在化する中で、欧米各国は金融政策を引き締め方向に転換させましたが、米国においては11月以降のインフレ鈍化観測により、利上げのペースを鈍化させました。このような金融情勢の中、ドル円相場は激しく変動しました。

このような状況のもと当社グループにおいては販売価格の是正により、売上高は22,479百万円（前年同期比10.1%増）となったものの、原材料価格は依然として上昇基調にあり、販売価格への転嫁までにタイムラグが生じたことから、営業利益は511百万円（前年同期比62.8%減）となりました。急激な円安進行による為替差益の計上により、営業外損益は大幅増益となったものの、経常利益は1,144百万円（前年同期比34.0%減）となりました。また、前年同期の特別利益（固定資産売却益833百万円）の剥落もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は719百万円（前年同期比58.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①日本

全体的には販売価格の是正により増収となりました。増減の内訳は次の通りです。

特殊潤滑油部門では、ダイカスト用油剤の減少を難燃性作動液の需要回復や切削油剤の新規拡販等がカバーしたことにより、前年同期並みの数量となりました。ホットメルト接着剤部門では、主力の衛生材用途が堅調に推移したことに加え、粘着用途での新規獲得による増加等により前年同期を上回る数量となりました。素材部門では、ポリスチレン可塑性用途での出荷が、顧客工場での大型定期修理の影響で減少しました。合成潤滑油部門では、顧客での在庫調整の影響により高温用潤滑油の数量は減少しました。

以上の結果、当セグメントの外部顧客への売上高は14,629百万円（前年同期比5.7%増）となりましたが、原材料価格高騰等の影響によりセグメント利益は161百万円（前年同期比80.8%減）となりました。

#### ②中国

特殊潤滑油は販売価格の是正と円安の進行により増収となりました。ホットメルト接着剤は、空気清浄機用フィルター用途での需要が一段落したこと等により減収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は2,813百万円（前年同期比7.7%増）となりましたが、原材料価格高騰等の影響によりセグメント利益は205百万円（前年同期比37.3%減）となりました。

#### ③東南／南アジア

特殊潤滑油は需要の回復により前年を上回る数量となり、また販売価格の是正と円安の進行により増収となりました。ホットメルト接着剤はインドおよびインドネシアでの数量増により増収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は4,274百万円（前年同期比27.8%増）となりましたが、原材料価格高騰等の影響によりセグメント利益は86百万円（前年同期比15.5%減）となりました。

#### ④北米

メキシコにおける日系自動車メーカーの稼働率低下の影響等により数量は減少しましたが、販売価格の是正と円安の進行により増収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は762百万円（前年同期比24.0%増）となりましたが、原材料価格高騰等の影響によりセグメント利益は78百万円（前年同期比22.6%減）となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,001	4,172
受取手形及び売掛金	6,844	7,831
商品及び製品	2,935	3,407
原材料及び貯蔵品	2,391	2,904
その他	461	641
貸倒引当金	△25	△28
流動資産合計	16,607	18,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,540	4,053
機械装置及び運搬具(純額)	2,035	1,983
土地	1,954	1,969
その他(純額)	774	533
有形固定資産合計	8,304	8,537
無形固定資産		
のれん	219	124
その他	413	520
無形固定資産合計	633	643
投資その他の資産	3,465	3,820
固定資産合計	12,401	13,001
資産合計	29,008	31,929
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,308	5,173
短期借入金	560	1,549
未払法人税等	427	107
賞与引当金	529	291
その他	1,437	1,846
流動負債合計	7,260	8,967
固定負債		
長期借入金	350	307
退職給付に係る負債	531	555
その他	316	280
固定負債合計	1,197	1,141
負債合計	8,457	10,108
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,118	2,118
資本剰余金	1,976	1,976
利益剰余金	13,517	13,864
自己株式	△384	△567
株主資本合計	17,227	17,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	61
為替換算調整勘定	505	1,378
退職給付に係る調整累計額	191	186
その他の包括利益累計額合計	735	1,625
非支配株主持分	2,589	2,804
純資産合計	20,551	21,820
負債純資産合計	29,008	31,929

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)
売上高	20,415	22,479
売上原価	13,643	16,291
売上総利益	6,772	6,188
販売費及び一般管理費	5,397	5,677
営業利益	1,375	511
営業外収益		
受取利息	21	15
受取配当金	10	14
為替差益	161	482
持分法による投資利益	126	95
その他	62	46
営業外収益合計	380	652
営業外費用		
支払利息	14	8
その他	9	11
営業外費用合計	23	19
経常利益	1,732	1,144
特別利益		
固定資産売却益	833	—
特別利益合計	833	—
税金等調整前四半期純利益	2,565	1,144
法人税、住民税及び事業税	883	456
法人税等調整額	△198	△108
法人税等合計	685	347
四半期純利益	1,880	796
非支配株主に帰属する四半期純利益	150	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,730	719

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	1,880	796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	27
為替換算調整勘定	417	1,074
退職給付に係る調整額	3	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	32	42
その他の包括利益合計	462	1,137
四半期包括利益	2,342	1,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,104	1,608
非支配株主に係る四半期包括利益	238	325

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新規に設立しました莫莱斯柯(浙江)功能材料有限公司を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。これにより、当該期首残高に与える影響はありません。

当会計基準の適用による変更内容は、以下のとおりであります。

## ・顧客への製品販売

従来は船積み基準を適用していた輸出販売のうち、船積時点ではリスク負担が移転しない契約については、インコタームズ等で定められた貿易条件に基づいて、リスク負担が顧客に移転したときに収益を認識する方法に変更しております。

## ・有償受給取引

顧客から原材料等を仕入れ、加工を行ったうえで当該顧客に販売する有償受給取引等において、従来は原材料等の仕入価格を含めた対価の総額で収益を認識しておりましたが、原材料等の仕入価格を除いた対価の純額で収益を認識することとしております。また、原材料の期末棚卸高について、棚卸資産に含めて表示しておりましたが、流動資産その他に含めて表示しております。

## ・有償支給取引

有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について有償支給取引に係る負債を認識しております。

## ・代理人取引

一部の代理店との取引について、従来は顧客が支払う対価の額から代理店への手数料を差し引いた純額を収益として認識しておりましたが、顧客が支払う対価の総額を収益として認識し、代理店への手数料を費用として認識する方法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。



## (追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,843	2,612	3,345	615	20,415	—	20,415
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,032	245	199	8	1,484	△1,484	—
計	14,875	2,857	3,544	623	21,899	△1,484	20,415
セグメント利益	837	327	102	101	1,367	7	1,375

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円には、セグメント間取引消去12百万円、棚卸資産の調整額△4百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,629	2,813	4,274	762	22,479	—	22,479
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,070	326	138	20	1,554	△1,554	—
計	15,700	3,139	4,412	782	24,033	△1,554	22,479
セグメント利益	161	205	86	78	531	△20	511

(注) 1. セグメント利益の調整額△20百万円には、セグメント間取引消去2百万円、棚卸資産の調整額△21百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識に関する会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。当該変更による影響は軽微であります。

## 3. 補足情報

## (1) 製品およびサービスに関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 2022年3月1日 至 2022年11月30日）

外部顧客への売上高	金額（百万円）	前年四半期比（%）
特殊潤滑油	11,081	114.4%
合成潤滑油	1,381	90.3%
素材	2,849	110.5%
ホットメルト接着剤	5,801	114.1%
エネルギーデバイス材料	128	64.9%
その他	1,239	93.3%
合計	22,479	110.1%

## (2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自 2022年3月1日 至 2022年11月30日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高（百万円）	7,552	747	123	8,422
II. 連結売上高（百万円）				22,479
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	33.6%	3.3%	0.5%	37.5%

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール、インド

北米……………米国、メキシコ

その他……………アラブ首長国連邦、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。